

“暮らしの安心”と“救命技術”を支える

最新装備“の救急車配備！”

全国で10台のうち1台が積丹町へ



3月10日、一般社団法人日本自動車工業会（東京都）の「令和2年度寄贈救急自動車事業」により北後志消防組合積丹支署へ最新高規格救急車が寄贈されました。

この民間団体寄贈救急車は、総務省消防庁の推薦を受けた全国10カ所（10台）のうちの1台です。

今回の懸案課題の解決は、積丹半島先端の厳しい立地環境下での救急業務の管轄区域の広さと搬送距離や町民の高齢化率、外国人を含む観光客数のほか、これまでの同支署救急隊の技術力や消防団活動などの努力に対する消防庁の高い推薦評価がありました。



▲北後志消防組合 山下 崇彦消防長（左）、（一社）日本自動車工業会 松本 行弘 参与・総合政策領域部長（右）

最先端の医療機器を積載！

CPA（呼吸・脈拍なし）の傷病者には、隊員1名が、絶え間ない心臓マッサージを行います。限られた乗務員数では、結果として処置や搬送の遅延が起こつてしまいます。しかし、今回の自動心マッサージ器の新たな積載により、絶え間なく質の高い心臓マッサージが行われ、救急救命士が行う医療行為の迅速化で、救命率の向上が確保されます。



▲自動心マッサージ器を使用したCPA（呼吸・脈無し）対応訓練



また、人工呼吸器の整備は、これまでの手動での空気の供給が、自動で安定して傷病者に送られます。

こうした最新の救命資器材を救急車に積載している消防署は北海道内でも少ないため、今後の救急活動はより一層質の高いものになります。隊員は、最新資器材の習熟訓練や新たな医療知識の習得に努力し、町民の安心な暮らしを支える救急出動に備えます。

医療機器整備事業費（機装費）
22,587千円
―令和2年度過疎対策事業債活用―

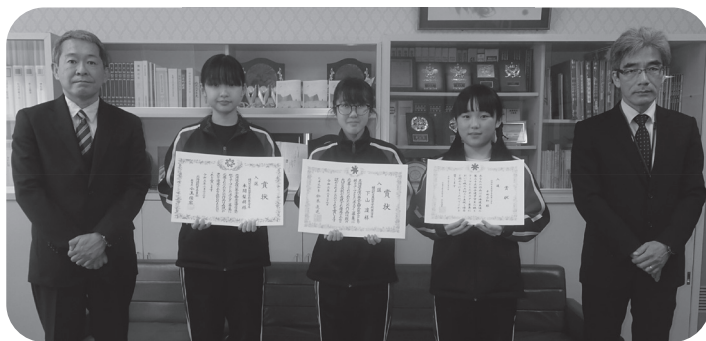
快挙！

美国中3名が入選！

第35回全道中学生の「税」ポスター応募

北海道主催の第35回「全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」で、全道107校2,985点の応募の中から、美国中学校の3名の生徒の作品が入選しました。

3月10日に、西村 公男小樽道税事務所長が来校され、3名の生徒に賞状と副賞が贈られました。



▲左から柴野校長、本間さん（2年）、下山さん（1年）、木田さん（1年）、西村道税所長



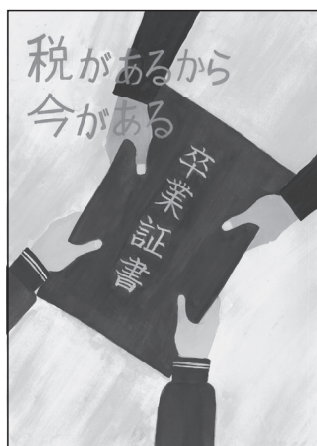
▶下山 凛さん（1年）
北海道知事賞

「税金で維持されている施設などを描き、北海道を持つ手は私たちを支えている税金をイメージしました。」



▶本間 梨胡さん（2年）
北海道教育委員会教育長賞

「エゾシカの見つめる姿の表現に工夫をしました。毛並の質感と文字のレタリングを見てほしいです。」



▶木田 奈知さん（1年）
北海道後志総合振興局長賞

「卒業証書のイラストにより、私たちが普段使っている教科書や学校が税金によって維持されていることを表現しました。」

美中生がオーストラリアの高校生と交流！

ICT機器を使ったホームルームを中継

3月10日に、美国中学校 1・2年生22名と教員、町外国語指導助手（ALT）が、オーストラリア・タスマニア州オージルビー高校の生徒と、タブレット端末を用いた初めての海外との交流ホームルームが行われました。

今回は、町ALTのリチャード先生が、オーストラリア大使館等との交渉を行い、日本語を学習する同

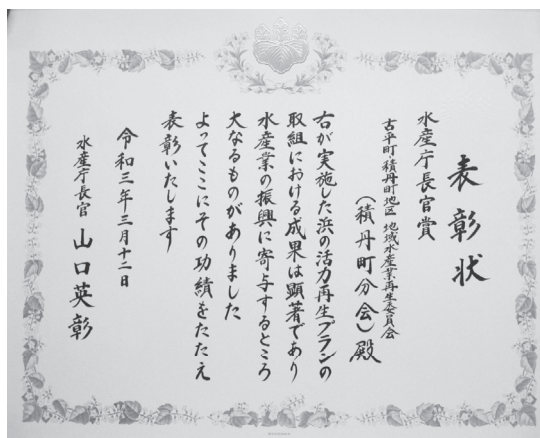
生徒からは、「同年代の外国人と、自分が知っている英語で色々なことを話して交流することが楽しかった」などの感想が寄せられました。

今年度も英語科の授業で同高校との交流学習を継続し、英語力の向上を図るとともに、令和2年度に整備された校内無線通信ネットワークや、生徒1人1台端末を活用した授業が進められます。



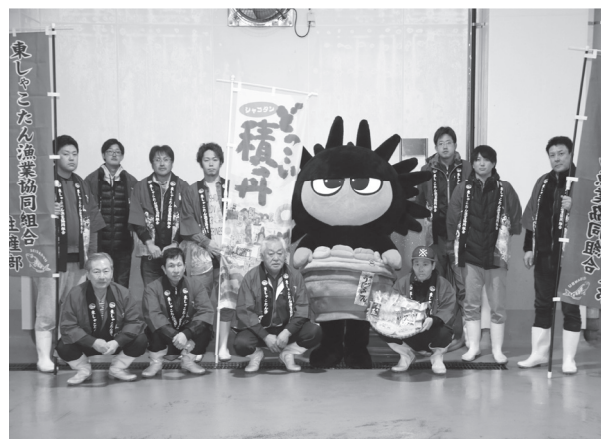
今年度も英語科の授業で同高校との交流学習を継続し、英語力の向上を図るとともに、令和2年度に整備された校内無線通信ネットワークや、生徒1人1台端末を活用した授業が進められます。

産官学連携「ウニの多面活用」で 積丹町が“水産庁長官賞”受賞！



3月12日、漁業所得の向上を目指す全国の「浜の活力再生プラン」の中で、他の地域の模範となる活動事例を水産庁が表彰する「令和2年度浜の活力再生プラン優良事例表彰」で、全国各地から選ばれた18件の中から「古平町・積丹町地区地域水産再生委員会【積丹町分会】」が見事「水産庁長官賞」に輝きました。

積丹町分会は、東しやこたん漁業協同組合の美国支所と積丹支所の漁業者で構成されています。陸上畜養、海中肥育などのウニの安定生産への取り組みや、大学等との連携によるウニ殻を利用した



養殖コンブの増産や藻場再生など資源循環型のウニを中心とする活動成果の内容です。若い漁業者グループが将来を見据えて実施した試験活動の成果が、漁業生産の向上のみならず、今日の海洋環境問題にも貢献する取り組みとして高く評価されました。

浜の活力再生プランは、今や積丹町の経済を支えているウニの安定生産に向けて、試験事業から事業化へ進歩させる重要な道標となります。表彰を機に、全国各地から高い関心が寄せられ、今後の事業化への進展が期待されています。

懸案の“野塚海岸護岸改修工事”に着工！

野塚地域の皆さんの念願だった「野塚海岸津波高潮危機管理対策工事」が令和3年度から2カ年計画でいよいよ着工します。

工事の時期は海象等の影響により変更されることがあるほか、工事の施工に際しては、どうしても騒音や振動が避けられない場合もありますが、できるだけ抑制する工法や影響度合の計測調査を実施しながら工事を進める予定です。

工事区域に隣接する建物や土地の所有者・管理者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

■工 期	5月初旬～11月末（予定）
■施工業者	1工区：和田・三和経常共同企業体 2工区：中村建設（株）
■計測業者	平田技術コンサルタント（株）
■発注者	北海道小樽建設管理部
【問合せ先】	岩内郡共和町老古美 83 番地 小樽建設管理部共和出張所 TEL 0135-62-1818



コロナに
負けない!

～国の「緊急事態宣言」解除～

“コロナ”第4波警戒の日々続く・・・

■北海道は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数や入院患者数等の改善傾向が続いていることから、4ヵ月以上にわたり実施した「集中対策期間」を3月7日で終了しました。

また、政府も1都3県で継続している「緊急事態宣言」を3月21日で解除しました。

■しかし、道内でも新型コロナ変異株の感染者が確認されていることなどから、まだまだ油断を許さない日々が続きます。

コロナ感染予防対策の「基本行動」を実践し、遅れているワクチン予防接種に備えましょう。

北海道の状況

【累計感染者数】20,544名

【死亡者数】737名

－3月24日現在（道公表）－

コロナに
負けない!

北海道からのお願い～感染再拡大を防止～

3月から4月は、人の移動や歓送迎会など会食等機会の増加が見込まれる時期です。感染の再拡大を防止するためにも、国の通知など全国的な取組の一環として、年度末、年度初めの期間は、特に次の場面での感染防止行動の徹底をお願いします。

卒業式、入学式等は

- ・卒業式、入学式、入社式等の行事については、感染防止を徹底するとともに、人と人との間隔を十分に確保する等、適切な開催方法を検討する。

歓送迎会等は

- ・歓送迎会、新歓コンパ、飲食につながる謝恩会等については控える。

卒業旅行等は

- ・大人数での会食が避けられない場合は卒業旅行などの旅行を控える、あるいは延期を検討する。また、なるべく混雑しない平日の間での行動を検討する。

入学、着任等は

- ・引越時期を分散化するため着任日は柔軟に対応する。また、入学、着任までの体調管理を徹底する。

自分の命を守る・家族の命を守る・社会の命を守る

【問合わせ先】

役場住民福祉課 TEL 44-2113

- ④ 使用方法・・・テーブル、ドアノブ及び手すり等にスプレーで吹きかけ、10秒後に清潔なタオルで拭き取ってください。
- ③ 配布数量・・・1回2リットルまで
(事業所の方は増量可。洗浄済のペットボトル等を持参し、除菌剤の表示シールの貼付を！)
- ② 配布時間・・・午前9時から午後5時まで
(月・土・日祝日除く)
- ① 配布場所・・・総合文化センター1Fロビー

”感染症に強いまちづくり”
無料「次亜塩素酸水」の活用を！
～事業所の皆さんもぜひ～

北後志感染制御センター

「余市協会病院」でPCR検査

●検査予約

月曜日～金曜日に予約受付（当日不可）

●検査当日に持参するもの

本人確認書類
(運転免許証、健康保険証など)

●検査費用

北後志5町村の住民や企業・団体は
1人2万円、それ以外は同3万円。

【問合わせ先】

余市協会病院 TEL 0135-23-3126